

神奈川県協同組合連絡協議会

かながわC☺-ネット会員組織 御中

2022年6月20日

「2022年かながわ協同組合のつとめ」参加者募集!!

No.89でご案内した「2022年かながわ協同組合のつとめ」について詳細が決まりました。

テーマ：協同組合の価値と地域のセーフティーネットとしての協同組合間連携を考える

開催日時：2022年8月1日（月）13：30～15：20（ZoomによるWeb開催）

講演Ⅰ：ICAソウル大会からの学び（仮題）

JICA協同組合連携2部・ワーカーズコープ理事 中野 理氏

講演Ⅱ：協同組合間連携は地域のセーフティーネット～未来に向け食・災害について考える～（仮題）

福島大学 食農学類教授 小山 良太氏

申込方法等、詳しくは[チラシ](#)をご覧ください。

第100回国際協同組合デー記念中央集会 開催!!

国際協同組合同盟（ICA）は、毎年7月第1土曜日を国際協同組合デーと定めており、今年のスローガンを「協同組合はよりよい社会を築きます」としています。これは、協同組合のアイデンティティ（定義・価値・原則）への理解促進とさらなる発揮を目的とする世界的協議を意識したものとなっています。

日本協同組合連携機構（JCA）は、国際協同組合デーにあわせた記念中央集会を、多くの方が参加できるように Zoom によるオンラインとの併用開催で行います。

開催日時：2022年7月4日（月）13：00～16：00

開催方法：Zoom によるオンライン併用の実開催

内容や参加登録方法等、詳しくは[別紙開催文書](#)をご覧ください。

協同組合はよりよい社会を築きます
Cooperatives Build a Better World



100th 国際協同組合デー
2022.7.2(Sat)

第100回 国際協同組合デー記念 SNS企画はこちらから▶

2022年は国際協同組合デーが第100回を迎える記念の年です。

★★協同組合間連携事例のご報告★★

三浦市農協 & コープみらい ～「本春キャベツ」視察研修会～

三浦市農協は、4月中旬に生活協同組合コープみらい（事業エリア：千葉県、埼玉県、東京都）の組合員を対象に「本春（ほんばる）キャベツ」の視察研修会を行いました。（参加者 20 名）

以前からコープみらいは本春キャベツを取り扱っており、三浦市農協も消費者であるコープみらいの組合員活動で産地交流があることに関心を持ち、1年前から計画し交流が実現。当日は、本春キャベツの特徴（巻きが緩い）の説明や収穫体験、農家レシピの料理を食べて意見交換をしました。

参加者からは「三浦市は畑の区画が狭く手作業が多いという苦労を知り、安い野菜ばかり買うのではなく、農業を守るという意識を持って選んで購入したい」という意見もあったそうです。



ＪＡはだの & パルシステム神奈川 ～農園オーナー植え付け体験～

はだの都市農業支援センター（ＪＡはだの・秦野市・秦野市農業委員会連携事業）は5月中旬、市内の畑でラッカセイやサツマイモの農園オーナーによる植え付け体験を開きました。農園オーナーは、観光農業の振興のために取り組みの一環で、農産物の植え付けから収穫までを体験できる企画です。今回、ＪＡはだのと「事業連携を通じた地域振興・地域貢献に関する包括協定」を結ぶパルシステム神奈川にも案内し、市内外から訪れた40組のうち3組がパルシステム神奈川の組合員でした。

参加者は、自身の区画に名前を書いた目印の杭を立てて、事前に農家が耕うんしてマルチを敷いた畑に、ラッカセイ「郷の香（さとのか）」の種やサツマイモ「紅あずま」の苗を丁寧に植え付けました。

パルシステム神奈川からの参加者からは「ラッカセイを植えたのははじめて。なかなかできない貴重な体験なので収穫することが楽しみ」という声もあったそうです。



ラッカセイの種をまくオーナー家族

ユーコープ & ＪＡはだの ～第2回意見交換会を開催～

昨年11月の意見交換会に続き、5月27日にＪＡはだの本所にてユーコープとＪＡはだので意見交換会を実施。今回は、地域で活動するユーコープ西湘1エリア会やＪＡはだの女性部を担当する生活福祉課の課長、秦野市内のユーコープ店舗の店長も参加し、現在のお互いの活動状況の共有や今年度の具体的なコラボ企画についての意見交換を行いました。

また、今年度もＪＡはだのがユーコープのフードドライブ活動の広報協力をするることになり、地域での社会貢献活動と一緒に取り組める体制づくりができました。意見交換終了後は、新たにＪＡはだのが取り組んでいる地元食材を使ったジェラート（ＪＡはだの「じばさんず」敷地内に「Sun 's Gelato」としてオープン）を堪能し、地元食材活用の魅力を再認識しました。

次回意見交換は9月頃を予定しているとのことです。

ユーコープ & ＪＡさがみ ～「えびなのトマト」親子収穫体験を開催～

ユーコープは約45年前よりユーコープ（旧コープかながわ）の産直トマトとして「えびなのトマト」を取り扱っており、20年以上続く人気の企画として「コープの産直えびなのトマト 親子収穫体験」行っていますが、2020年、2021年はコロナ禍で中止にしており、5月28日、3年ぶりによく開催することができ、当日は2部に分かれて7組の家族が参加。密にならないように少人数のグループに分けたため、生産者とじっくり交流ができ、参加者からは、「トマトの収穫体験は初めてで、トマトの枝がとても高く、実がたくさんぶら下がっている様子を見て感動しました。農家の方は毎日休みなく収穫しているとのこと、暑い時期はとても大変だろうと思います。ハチに手伝ってもらって受粉する話がおもしろかったです。」「収穫体験とても楽しかったです。新鮮なトマトがとれて、貴重な体験が出来ました。また体験したいです。」などの感想をもらい、家族で楽しいひと時を過ごしていただけたとのことです。



➤ **新型コロナウイルス感染症による社会への影響が続いています。会員組織での困り事をはじめ、告知を希望する行事、提携事例等がありましたら下記までご連絡ください。**

＜担当事務局連絡先＞

ＪＡ神奈川県中央会 総務企画部(担当：杉本・向) TEL 045-680-3001 sou-ki@chu.kn-ja.or.jp

神奈川県生活協同組合連合会 (担当：相田) TEL 045-473-1031 Yuji.Aida@ucoop.or.jp

2022 年かながわ協同組合のつどい

—協同組合の価値と地域のセーフティーネットとしての協同組合間連携を考える—

<開催目的>

長期化する新型コロナウイルス感染症の蔓延やSDGsの浸透により人々の価値観や行動が変わり始めており、「共助」の重要性が再認識され、協同組合の再評価にもつながっています。

こうした情勢のなか開催する「2022 年かながわ協同組合のつどい」は、昨年 12 月に開催された ICA ソウル大会の議論をもとに協同組合の価値やこれから何を実践すべきかを考えます。

また、地震や台風等の自然災害やロシアによるウクライナ侵攻等の人災など、私たちの日常生活が脅かす惨事がいつ起こるかわかりません。そのような有事の際にいかに対応すべきか、地域のセーフティーネットとしての協同組合、協同組合間連携を考えます。

◇開催日時 2022 年 8 月 1 日（月）13：30～15：20

◇開催方法 Zoom による Web 開催

◇内 容

講演Ⅰ：ICAソウル大会からの学び（仮題）

JCA協同組合連携2部・ワーカーズコープ理事 中野 理 氏



中野 理 氏

講演Ⅱ：協同組合間連携は地域のセーフティーネット

～未来に向け食・災害について考える～（仮題）

福島大学 食農学類教授 小山 良太 氏



小山 良太 氏

講演終了後、質疑応答・意見交換を行います。

◇参加費 無料

【主 催】かながわ Co-ネット（神奈川県協同組合連絡協議会）

【問合せ・参加申込先】JA神奈川県中央会 総務企画部（杉本、向^{むかい}）

TEL：045-680-3001 E-mail：sou-ki@chu.kn-ja.or.jp

※7/19（火）までに E-mail で送付してください。

※メールの標題に「2022 年かながわ協同組合のつどい参加申込」と記載の上、本文に「所属組織名」「参加者氏名・役職名」「当日の連絡先(TEL)」を記入ください。

※Zoom のミーティング ID・パスコード・資料は、7 月 27 日(水)を目途に、E-mail で送付いたします。

2022 年 6 月 6 日

協同組合連携組織 御中

一般社団法人日本協同組合連携機構

第 100 回国際協同組合デー記念中央集会の開催について

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、7 月 2 日（土）の第 100 回国際協同組合デーを記念して、別紙のとおり中央集会を開催いたします。

一昨年から新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、多数の参加者が一堂に集まった実開催が難しい状況でありましたが、本年は感染状況が一定程度改善されており、また、100 回目を迎えることから、2 年ぶりに人数制限を設けて会場で開催することとしました。一方で、全国から多くの皆さまにご参加いただけるよう、Zoom でのオンライン参加を併用したハイブリッド形式での開催といたします。

関係団体の多数のご参加を賜りますようお願い申し上げますとともに、参加予定の皆さまに、参加登録方法等について周知いただきますようお願いいたします。

敬 具

記

(1) 参加登録方法

第 100 回国際協同組合デー特設ページの「登録フォーム」よりご登録ください。

<https://ws.formzu.net/fgen/S965840056/>

(2) 参加登録受付期限：実参加 6 月 23 日（木）、オンライン参加：6 月 30 日（木）まで

(3) 参加にかかる留意事項

- ① 参加登録後、ご登録いただいたメールアドレス宛に自動返信で受付完了のご連絡をいたします。自動返信メール内に、当日資料格納先 Google ドライブの URL、実参加の会場案内等、オンライン参加の Zoom の URL 等記載しておりますので必ずご確認ください。メールが届かない場合は、早めに coopjapan.iyc.jjc@japan.coop までメールでご連絡ください。集会当日のご対応はできませんので、ご承知おきください。
- ② オンライン参加者は Zoom のブレイクアウトルーム機能を使用した参加者意見交換（別紙プログラム参照）がございますので、あらかじめ Zoom のバージョンを最新のものに更新いただきますようお願いいたします。
- ③ 実参加の申し込みが会場収容人数を超える場合は、オンライン参加に変更いただけるかについて、別途ご連絡させていただく可能性もありますので、お含み置きいただきますようお願いいたします。
- ④ ペーパーレス化の観点から、実会場では、プログラムをはじめ当日資料は配付いたしませんので、必要に応じ、各自、ご用意の上、ご来場いただきますようお願いいたします。

(4) 参加費：無料

※本件にかかるお問合せは、各ブロック連携推進マネージャーまで

以 上

第 100 回国際協同組合デー記念中央集会について

毎年 7 月第 1 土曜日は「国際協同組合デー」、今年は 7 月 2 日（土）です。

国際協同組合同盟（ICA）は、協同組合への認知を高め、協同組合運動の理念を広めるために世界中で祝われる国際協同組合デーの今年のスローガンを「協同組合はよりよい社会を築きます」と発表しました。

このスローガンは、協同組合がその特性（＝アイデンティティ）を発揮して、よりよい社会づくりに取り組んでいることを世の中に訴えるものであるとともに、昨年 12 月のソウル大会を起点とした協同組合のアイデンティティ（定義・価値・原則）への理解促進とそのさらなる発揮を目的とする世界的協議を意識したものとなっています。

JCA では、この世界的な協議の機会に、協同組合のアイデンティティ（定義・価値・原則）についての学習を行っていくこととし、県域・地域にも学習活動と呼び掛けています。

今年の国際協同組合デー記念中央集会は、これらの動きと連動し、協同組合の取り組み事例から、その基盤となっている協同組合のアイデンティティを学び、協同組合の組織・事業・活動に活かしていくための示唆を得ることを目的として開催します。

1. 日 時：2022 年 7 月 4 日（月）13：00～16：00（開場 12:30）
2. 開催方法：Zoom によるオンライン併用の実開催
3. 場 所：アルカディア市ヶ谷 3F 富士（東京都千代田区九段北 4-2-25）
4. 主 催：一般社団法人日本協同組合連携機構（JCA）
5. テーマ：協同組合のアイデンティティを学び・活かす
6. プログラム
 - (1) 開会挨拶：JCA 代表理事会長 中家 徹（全国農業協同組合中央会 代表理事会長）
 - (2) 国際協同組合同盟（ICA）会長からのビデオ・メッセージ
 - (3) 岸田文雄内閣総理大臣からのビデオ・メッセージ（予定）
 - (4) 映像・情勢報告「協同組合のアイデンティティを学ぶ」
 - ① 内 容：映像学習資材を通じ、協同組合のアイデンティティ（定義・価値・原則）について学ぶとともに、ICA が開始したアイデンティティに関する世界的協議の背景について理解を深める。
 - ② 情勢報告：JCA 代表理事専務補佐 伊藤 治郎
 - (5) 事例報告・パネルディスカッション：「協同組合のアイデンティティ～私たちの原点を確認し、その具体化を探る～」
 - ① 事例報告・パネリスト：
 - ・ JA おちいまばり 代表理事専務 渡部 浩忠 氏
 - ・ コープこうべ 常務理事 中川 寿子 氏
 - ・ 労協センター事業団仙台けやきの杜地域福祉事務所 所長 瀬戸 理音 氏
 - ② コーディネーター：JCA 代表理事専務 比嘉 政浩

＜事例報告とパネルディスカッションの間で、途中休憩をはさむ予定＞

- (6) 参加者意見交換

集会の内容を受けて、協同組合のアイデンティティについての感想や気づきを共有し、交流します。オンライン参加者については、事務局側で Zoom ブレイクアウトルーム機能によりグルーピングいたします。
- (7) 閉会挨拶：JCA 代表理事副会長 土屋 敏夫（日本生活協同組合連合会 代表理事会長）

※プログラムの内容や順序については変更となる可能性がありますので、お含み置き願います。